

一般的な記法

通常のテキストで文章を入力。

箇条書き

箇条書きを書く。

- 最初の行。
- 2行目。
- 3行目。

画像

画像をドラッグ&ドロップでアタッチ。表示は icon としておく。

単純にアタッチしただけ。

こちらは、markdown タグで画像のまわりをマークアップしてみる。



引用とリンク

以下を参考にサンプルを作成。

- [Pandoc ユーザーズガイド 日本語版 - Japanese Pandoc User's Association \(http://sky-y.github.io/site-pandoc-jp/users-guide/\)](http://sky-y.github.io/site-pandoc-jp/users-guide/)
- [ドキュメント変換ツールPandoc：ユーザーズガイドを熟読して分かったマニアックな使い方 - Qiita \(http://qiita.com/sky_y/items/5fd5c9568ea550b1d7af\)](http://qiita.com/sky_y/items/5fd5c9568ea550b1d7af)

引用後のテキスト行。

Pandoc拡張Markdown

Pandoc拡張Markdown での入力はどう扱われるのか。

ヘッダ識別子 {#foo}

この記法は markdown では機能しないはず。

```
# ヘッダ {#foo}
```

テーブル

テーブルを書く。

右寄せ	左寄せ	デフォルト	中央寄せ
12	12	12	12
123	123	123	123
1	1	1	1

コードブロック

コードのサンプル。

```
qsort [] = []
qsort (x:xs) = qsort (filter (< x) xs) ++ [x] ++
               qsort (filter (>= x) xs)
```

定義リスト

PHP Markdown Extraと同様の定義リスト。

用語1

: 定義1

脚注

これは脚注の参照です^{^1} ([\(%E3%81%93%E3%82%8C%E3%81%AF%E8%84%9A%E6%B3%A8%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82\)](#))、そしてもう一つ^{^2} ([\(%E3%81%93%E3%82%8C%E3%81%AF%E9%95%B7%E3%81%84%E3%83%86%E3%83%AD%E3%83%83%E3%82%AF%E3%81%8B%E3%82%89%E6%88%90%](#)

この段落は脚注ではありません。なぜならインデントされていないからです。

水平線

この下に水平線。

この上に水平線。

タイトルブロック

文書の先頭が下記のような形式で始まっていると、テキストが文書情報として扱われるそう。

% タイトル % 著者 (複数の場合はセミコロンで区切る) % 日付

よって、ここでは機能しない。

内部リンク

この記法は markdown では機能しないはず。

```
内部リンク[サンプル](#foo)です。
```

内部リンク[サンプル](#)です。

インデントされたいくつかの段落が続くと、それらは前の脚注に含まれます。

```
{ some.code }
```

段落の全体または1行目がインデントされていればOKです。このように、複数の段落による脚注は複数項目のリストアイテムのように機能します。